



※定住外国人子ども奨学金ニュースレターWeb版は個人情報などの都合上、内容を一部変更しています。

第 6 期奨学生の面接を終えて

2013 年 4 月 7 日に「2013 年度 定住外国人子ども奨学金」の面接を実施しました。面接したのは N 委員長、H 委員と私です。書類選考で不採択とした 1 名を除く 9 名の応募者を面接しました。9 人それぞれ境遇が違い、抱える困難も異なり、彼らの抱える問題の多様さをあらためて考えさせられました。

毎年、面接委員から指摘されることですが、3 名という限られた人数を多くの候補者のなかから選ぶ作業はたいへん困難な作業です。できるだけ一人ひとりの生徒の置かれた状況を客観的に知り、さらにその子の長所や個性を引き出したいですが、限られた時間の中ではどうしても不十分な理解になりがちです。そのため、今までの選考の経験をふまえた現在の選考基準が決められています。現在の選考基準はバランスのとれた情報を得る上で適切な基準だと思います。

また、これも毎年指摘されることですが、どんな面接でも明瞭なことばと態度で話しができるいわゆる「コミュニケーション能力」がある生徒が有利になります。この奨学金では、日本滞在年数が少なく、まだ日本語でのコミュニケーションが十分できない生徒にも不利にならない選考が求められるので、どう対処するかは大変難しい問題です。しかし、今回は幸い来日年数とは関係なく、問題なく日本語が使える生徒ばかりでした。

この奨学生も今回選ばれるのが 6 期生となります。ニュースレターで進学や就職が決まった奨学生の顔ぶれが紹介され、奨学金が始まった頃の奨学生はもう成人を迎えるほどになりました。面接を終え、この奨学金の継続の重要性をあらためて自覚しました。

私は今回はじめて面接委員を引き受けましたが、多くの生徒達の実態を直接知り、奨学生の今後の学業に間接的に関わるという貴重な経験をしました。奨学金を支える委員が出来るだけ多数面接に関わっていただきたいと思います。

(実行委員 N.T.)

奨学生からのメッセージ

今回は、新入生である1年生(6期生)には、①自己紹介②高校に進学してやりたいこと③将来の夢について、2～3年生は選択式で①「高校生活について」②「十年後に私はこうになりたい」③「私が尊敬する人」④「影響を受けたワンフレーズは？」⑤①～④以外で、自分で決めたテーマから選択で、交流会当日に奨学生に作文を書いてもらいました。卒業生には、①高校を卒業して②今後の進路について③奨学金の使い道について④後輩へのメッセージについて書いてもらいました。

Kさん (6期生)

①自己紹介

私は、日本人の母とメキシコ人の父親の元で育ちました。日本に来たのは、中学校へ入学したときです。それまでは、1年に1回遊びに来るだけだったので、その延長だと思いつても楽しみでした。でも、その考えは、とても、あまかったです。慣れない日本での生活にとまどいました。中学1年生のときは、ほとんど誰とも話しませんでした。2年生になると、人間関係は、上手くいくようになりましたが、勉強でつまずいてしまいました。

中学校に上がったからかもしれませんが、確実に勉強が難しくなっていました。特に、社会科は、周りの人が、「知っていて当たり前」というような事に対して、私は「まったく知らない」ということが多々ありました。友達の会話でも、この様なことは、たくさんありました。自分の、居場所を作るのは、簡単なことでは、なかったです。高校に入学した今、中学3年間を元に、より自分らしく生きていけるような道を探したいです。周りの人への感謝を忘れず生活していきます。

②高校に進学してやってみたいこと

高校で、私がしたいと考えていることは、4つあります。まず、1つ目は、勉強面のことです。私は、今行きたい大学が、あります。そこに行くには、総合的に勉強をできなくては、いけません。しかし、今の私は、勉強の好き嫌いが激しいです。なので、嫌いな教科も、もっとがんばりたいです。

2つ目は、部活動です。私は、高校で、空手部と英語部に入部しました。それぞれの部活で目標をたてています。空手部は、市総体で、ベスト3。英語部は、TOEIC700点以上。この2つを、卒業までにがんばりたいです。

3つ目は、人間関係です。私の人間関係の範囲は、とてもせまいです。学校の友人、家族と悲しくなるほどです。これからは、ボランティア活動などで、広くしていきたいと思います。

4つ目は、生活面です。お恥ずかしいですが、私は、朝、母に起こしてもらっています。1人では、なかなか起きれないのです。でも、私は、この「フン大好きです私」から卒業します。

この4つは、最低でも、達成したいです。

③将来の夢

私がよく考えることの1つに「将来の私は、何をしてるのだろうか。」ということです。職業は、もちろんどこに住んでいるのかということから、色々考えています。しかし、真っ白な将来なので、目をこすっても、望遠鏡でのぞいても、はっきりとは、見えません。見えない、見えないと言っている、悲しくなるので、目標を決めました。どこで、何をして生活していても、1日1回は、「笑う」ということです。簡単なようですが、中学1年生の頃の私は、できませんでした。小さくても「幸せ」でなくては、笑えませんので、とても大切だと思います。この目標を達成したいです。

Nさん (6 期生)**① 自己紹介**

2010年7月10日、日本にきました。今は16歳で、神戸野田高校の大学進学特進Sコースの1年生です。Sコースは毎日授業が多く、部活に入ることもできません。けれど、その代わりに生徒会に入りました。生徒会で活躍したいです。

日本に来たとき、そんなにいろいろ考えなくて、何が待っているか分かりませんでした。そして2学期が始まり、ひらがなやカタカナから、少しずつ日本語を勉強し始めました。いろいろとても不安でしたが、まわりの人たちがとてもやさしくて、仲良くしてくれました。

いままで、学校の先生や親がいつも支えてくれて勇気をもらったからこそ、ここまで来ることができました。今まで助けてくれた人たちに本当に心から感謝しています。これからも頑張ります。

②高校に進学してやりたいこと

自分が興味のある学科を見つけ、夢を実現したいです。今は日々の授業を大切に、予習、復習を中心に勉強を頑張っています。高2になると、さらに勉強が難しくなると思いますが、国語を中心に努力したいです。古典がとても難しく、動詞の活用の変化は、ちょっと分からなくて、これをバッチリにしたいです。

③将来の夢

将来の夢は翻訳と関係のある仕事につきたいです。日本に来て、中学校の玉田先生がずっと、色々手伝ってくれて、くじけそうなときに支えてくれたので、自分も教師になろうかなと思いました。もともと教師という仕事はあまり好きじゃないです。同じことを何回も言わないといけないからです。だけど、玉田先生がきっかけでなりたいと思いました。

だから外国語大学に行って、先生になろうと思ったら、なれないこともないし、翻訳の仕事もできるし、それを目標として高校3年間で頑張りたいです。

Yさん (6 期生)**①自己紹介**

僕は小学校2年生の時に日本にきました。日本で生活して9年目になろうとしています。日本語も友達と話す分には支障がないですが、文化の違いによる衝突がよくあつたりします。僕は5人家族です。兄はペルーの大学に在学していて、父はペルーで仕事しています。普段は母と妹の3人暮らしです。妹は日本生まれで、日本の生活に一番馴染んでいます。

中学校ではテニス部に所属していました。絵を描くことや読書が好きです。好きな教科は理科や英語です。高校に入学したばかりで不安で心がいっぱいですが、頑張っていこうと思います。高校では硬式テニスをやろうと思います。高校生活が始まり、部活と勉強が生活の大部分を占めるとは思います。ボランティア活動にも積極的に参加したいです。

今こうして同じように外国にルーツをもっている学生に囲まれていると、自分が日本に来たばかりのことを思い出します。日本に来たばかりのときに、このような人たちと接して、高めあうことができているなら、今の自分はより成長していると思います。このように国は違えども同じような悩みを抱えた人たちと時間を共に過ごし、サポートしあうこの環境はすばらしいと思います。

自分も今までの経験を思い起こして、これからの奨学生や外国にルーツをもった子どもたちのサポートに早くまわれるようにしたいです。

②高校に進学してやってみたいこと

部活は硬式テニス部です。勉強は毎日欠かさずやるつもりです。僕は小野高校に入学しましたが、予習と復習をとて大切にしている学校です。授業の予習をするだけでも一日少なくとも2時間はかかります。親しい友達とも同じ学校で勉強することになります。クラスが違えども、学校行事で対決することを楽しみにしています。

す。

ボランティア活動は今までやったことがありません。東日本大震災などもあり、ボランティアに興味をもったことがあります。参加する機会は一度もありませんでした。ボランティア活動は初めてなので、とても楽しみにしています。何か新しいことを始めることにとても興味をもっています。3 年間よろしくお願いします。

③将来の夢

将来の夢は公務員になることです。自分の考える人生の全体像として、大学を卒業して、市役所で働きたいです。日本に来た時、一番お世話になったのが市役所です。日本に初めて移り住んだ外国の方に適切なサポートをしてあげることが今の僕の夢です。これは今僕が考える現実的な夢です。毎日少しずつがんばれば必ず叶えられると思います。そのためにも、高校生活は部活と勉強の両立を目指してがんばります。

〇さん (5 期生)

「高校生活について」

私は、今、高校二年生です。今年の春に進級したので、新たに高校生活が始まりました。そのなかで友達作りをするって考えると私はあまり好きではありません。なぜなら、私は最初とても人見知りなので自分から話すことが苦手だからです。だから、私は今、一年生の時に同じクラスだった子といつも一緒にいたり話したりしているので、まだまだクラスの中の他の子とはあまり話していません。これから一年間、今のクラスになじむためにまず友達作りをがんばりたいです。

二年生になって、コース別で、いろんなコースの中で私は総合進学コースというコースを選びました。私が選んだコースは、7 時間目があり、いつもより長く感じるので、集中力が前より切れやすくなっています。これからは 7 時間目があるので、少しずつ集中力を高めていきたいと思っています。

私は、一年生の時、成績が上下して、特に下がることが多いので、二年からは、来年受験生であることに自覚をし、成績が上下することがなく、上がるようにがんばります。自分のなりたい看護師という夢があるので、専門学校に行けるような成績になるようにします。組順位を上げクラス順位が五十位を目標にこの一年間がんばっていきます。

新学年になって、私は昨年のようにボランティア活動を続けていきたいと思っています。私は、昨年よりもっと多く、いろいろなボランティア活動をして、他の経験をして、これから大人になる時に役に立つようにボランティア活動をがんばっていきたく思います。ボランティア活動は少ししんどい時もあるけど楽しい時もあるのと、終わってから達成感も感じられるのと、手伝うってことが好きなので、これからボランティア活動をがんばり、友達もたくさんさそっていきたく思います。

Sさん (5 期生)

「高校生活について」

あっという間に、高校の一年間を過ぎてしまいました。一年間を振り返って見ると、楽しいことがあれば、苦労したこともたくさんありました。今から過去一年間について話したいと思っています。

一年間頑張ったことといえば、たくさんありましたけれど、一番頑張ったことはつい最近のプレゼンテーションコンテストです。最初題名を出されたときは本当に何も思いつかなくて、グループのメンバーとひたすらそれについて色々調べました。でも、皆と頑張っただんだんプレゼンが形になってきました。僕はあまりにも人の前で話すことがなかったので、リハーサルするだけでも、かなり緊張していました。皆頑張っている様子を見て、「自分も頑張らないと。」と思いながら、頑張ってきました。本番は思ったよりできました。最後、グループで最優秀賞を得られて、本当に最高でした。その賞状をもらった瞬間、もう言葉にできないほどうれしくて、前どんぐらい頑張ったという実感ができました。この機会を通して、人の前で話せるようになりましたし、本当

に良い体験だったと思います。

苦労したことは体育の授業でした。僕はもともとあまり体育していなかったので、体力は日本人より大部弱いです。ですので、体育授業はとても大変です。特に水泳とマット運動は全然できなかつたです。そして、毎回授業初めのランニングも大変です。でも、一年間ちゃんと頑張ってきたので、体力はつきました。普通の日本人と比べると、まだまだ弱いかもかもしれませんが、自分の中ではかなり伸びました。例えば、去年シャートルランは 52 回でしたが、今年は 78 回もできてしまいました。びっくりしながら、とても喜びました。

二年生になりまして、勉強はもっと頑張りたいと思います。そして、学校生活をもっと楽しめるように頑張りたいです。

Nさん (5 期生)

「リスタート」

合格発表の日は結果を持っている間にすごく緊張していました。もし、受かることができなかつたらどうすればいいかをずっと悩みました。私が受けに行った学校の先生が出て結果をみんなが見えるように看板に貼りました。自分の番号を探している間は同じく受けた人たちの何人かは、嬉しさや悲しさで泣き始めました。その時、自分の番号を見つけて、自分も涙が出始めました。その時は嬉しさでいっぱいだったので、一番大切なことを忘れました。

入学をして新しい友達がいっぱいできました。一学期はできるだけみんなについていけるように頑張りました。無理はしませんでした。できそうならやってみることにしました。

だが、二学期に入ってだんだんモチベーションが下がりました。同じクラスの人たちとどれだけ差があるか気づき始めました。課題もテスト勉強もやる気が出なくなり、全てにおいて諦めたような気持ちでした。何回も先生に呼び出しされて嫌でしたが、先生には自分の不安のことを話したくなかつたです。勉強しないとダメだとわかってはいたのにやりませんでした。何のために勉強するのか分かりませんでした。学校で海外研修の準備で夢のことをよく聞かれました。アンケートには何も書けませんでした。

自分は迷子でした。行き先が分からないまま同じ場所でグルグル回っているような感じでした。だけど、全てには始まりと終わりがあります。インターネットで大学やいろんなキャリアのことを読み始めました。勉強も新しいスタートをしました。三学期は頑張りました。放課後、学校に残ってサポーターの先生と勉強したり、家に着いたら必ず課題をやりました。すっきりしました。

今、県立国際高校の 2 年次生です。全部をリスタートして、勉強に集中して頑張ります。

Cさん (4 期生)

「私の親族」

日本に来たときから一回もフィリピンに帰らなかつたです。友人も親族もぜんぜん会わなかつたです。今年、父の方の親族は日本に来ました。おばさんとおばさんの夫と子どもが一人オーストラリアから日本に来ました。一週間泊まりました。三日後、フィリピンからおじいさんとおばあさんとおじさんといこは日本にきました。おじさんは仕事があるから一週間だけ泊まりました。みんな長い間に会わなかつたからとても嬉しくなりました。

日本に短い間に泊まるから毎日お出かけします。みんな一番見に行きたいは、さくらです。さくらはフィリピンにないから何回も花見に行きました。写真をいっぱいとりました。淡路島にチューリップを見に行きました。その日私は、アルバイトがあるから一緒に行けなかつたです。姫路城と明石城にも一緒に行きました。

USJに行きました。春休みがもう終わったので人が少なかつたです。アトラクションにたくさん乗れました。すごく楽しかつたです。

おばさんとおばさんの家族とオーストラリアに帰る前日に一緒に焼き肉を食べました。みんな日本の食べものが大好きです。

今は、おじいさんとおばあさんといとこが、残っています。学校はもう始まったから忙しくなりました。時間があれば親族と一緒に出かけます。毎朝、おじいさんとおばあさんは公園に散歩します。

こんどは、母の方の親族が日本に来てほしいです。いとこたちと遊びたいです。かわいい5歳のいとこにはやく会いたいです。

私の親族は世界中にバラバラにいるから、みんな同じ場所に一緒にいるときに大切にしています。

Mさん (4 期生)

「誰かのために私ができること」

誰かを助ける。何かに何かを教える。そしていつも笑顔でいれる事。この3つが私にとって人のためになる事だと思います。

なぜこの3つかと言ったら、それはこの4月から私は変わりました。4月になってももちろんみなさんも考え事、心配事、困っている事はたくさんあると思います。私はいっきにマイナスな事、出来事が起こっておちこんでいました。

これはいくら悩んでも、いくら頑張っても何も出来ない事です。最近、この病気にかかる人が多いです。それは「ガン」です。

今まで、私は色んな人たちの病気を聞いたことがありました。でも実際その気持ち全部はもちろん感じる事ができません。

4月になってメールで友達から「マルタに会いたい、病院来て。私ガンにかかったの。」と言われました。私と同じ年で子宮ガン。私はすごいショックを受けました。その次にペルーにいるおばさんもガンにかかっていた事を知らせてくれました。そして日本にいる私の親戚もガンにかかっていた。

こんなことを聞いて私は泣きました。寝不足になって学校にも休んで家でずっと居たら、自分で目を覚まして、これではダメ。学校も休んだらおばさんとかも元気がならない。私はショックだけでも、その人達のためも考えなきゃと思いました。

何かをやろう。そしてある日「芦屋の祭りにでてみない」と言われました。私はそこに参加しようと思いました。そこをつかって何か出来ないかなと思って、一番思いついたのは歌で相手に届けることでした。親戚に来てもらえるけど。今、病院にいる友達とペルーにいるおばさんにどうやって伝えようと思った時、お母さんから「ビデオカメラでとったら」といいアイデアをもらいビデオカメラでとりそしてDVDにして送ろうと思いました。

それでも何か物足りないと思ったので、友達3人でTシャツに応援メッセージを書きました。当日はそのTシャツを着て3人で歌うことにしました。そして当日思い通りに歌ってビデオカメラでとって、そしてみんなにTシャツにメッセージを書いてもらいました。本当にこの気持ちが伝えられた、一番私が誰かのためだと思いました。

この経験で学んだことは、いくら忙しくても、1分もかからないメールや電話あるいは手紙、ハガキでいつも自分が大切にしている人達を喜ばせて、「いつも心から想っている。」と伝える事が大事です。病気にかかっても私達人間に出来る事はたくさんあります。人間だからこそ出来るのです。

みなさんも忙しいと思いますが、大切な人はこれからも何が起きるかわからないですが、今一緒にいる時間を大切にしておいてその人を幸せにして下さい。

Eさん (4期生)**「高校生活について」**

4月入ったから私は3年生の生徒として学校の中で歩きまわっています。3年生ということは受験生です。1、2年生の高校生活をふりかえってみると、いろんなことがありました。学校行事といえば、学院祭、運動会、合唱コンクールなど、クラス行事といえば、合宿、修学旅行などがありました。

私たち国際クラスにとって一番大きなイベントといえば、2月から3月の一か月の語学研修です。私たちは他のクラスと違ってオーストラリアに行きました。私たちはこの研修のために、1年間英語に毎日ふれています。朝学では、リーディングやリスニング。担任の先生はもっと私たちに英語に慣れるように、ホームルームをすべて英語にするようになりました。実際現地に行くと、なんとなく先生の話やマザーの言ってることが分りましたのでとてもうれしかったです。

行く前にホームステイや食生活や授業のことやいろいろ心配をしましたが、実際に行くと、向こうの文化や生活をして、日本と違うことがたくさんあってとてもびっくりしました。例えば、バスは時間とおりに来ないことが多い。バス内ではアナウンスがなく、自分で道を覚えなければならないです。道の様子がとても似ているので、迷子になると大変なことになります。私のホームステイ先はめずらしい2階建てなので、分りやすかったです。

学校では全部英語での授業ですが、私たちには日本でも毎日英語を聞いているので、授業はほとんど分ったので、授業はとてもおもしろかったです。それ以外にロットネス島やファームにも行きました。オーストラリアの自然は日本では見たことのないきれいさでした。オーストラリアでは初体験のカヌーやラム肉を食べました。また機会があれば、またオーストラリアに行きたいです。今度はもっと英語で外国人と交流したいです。

残りの高校生活は英語をもっと勉強して、英検2級を取って、大学で留学をしたいです。

Hさん (3期生)**①高校を卒業して**

高校に入るとはじめて一番したかった事はたくさん友達を作ることでした。ですが、授業中の態度、学習意欲、将来像などが違いすぎて、なかなか馴染みにくかったです。2年からクラスがかわって進学の意欲が高い友達が出て、すごく嬉しかったです。

ESS部に入っていました。1年の時に、スピーチ大会に出場し、3位でした。2年から部長をして、文化祭、他のイベントを企画したりして、楽しかったです。

学校行事で一番好きだったのは、修学旅行と校外学習でした。友達と予定を立て、行きたい所に行って、したい遊びをして楽しかったです。

1年生の時から、クラスメートが授業中に騒ぎ、授業内容のレベルが自分の進みたい進路に適さないと思ったので、塾に通わないといけなさと決めました。高校での最大の目標は将来やりたいことができるように良い大学に進学する事なので、2年から受験勉強を始めました。受験勉強は大変でしたが、そこから色々な事が学べました。

入学試験などで学校の先生に色々な事を手伝っていただいて、今でも感謝しています。有意義な3年間を過したと思います。

②今後の進路について

大学に入って、しっかり勉強し、色々挑戦して、幅広い知識に身につけて自分を成長させたいと思います。自分の力に応じて、可能なら、大学院に進みたいです。

③奨学金の使い道について

受験の参考書、塾に通う学費に使いました。

④後輩へのメッセージ

学校生活に慣れ、友達をたくさん作って、学校生活を楽しみながらも、自分の将来、目標に向かって、勉

強を頑張ってください。分からない事があれば奨学金のスタッフや学校の先生に相談してください。

S さん (3 期生)

①高校を卒業して

高校三年間を振り返って、いろんな思い出があります。入学当時は友達作りはとても難しいと思ったけど、みんな仲良くしてくれて、スタートダッシュができました。文化祭と体育祭はクラス一一致団結でとても楽しく過しました。二年生のとき、クラブチームに所属しました。最近はとても苦労したけど、チームメートからいろいろ教えてたり、助けてくれたり、とても感謝してます。人と人の繋がりがとても大切だと実感しました。クラブでいろんなことを教えてくれて、ありがとうございます。三年生に上がったとき、そろそろ大学受験を考えないといけない、将来はどんな人になりたいと思いながら、大学を決めました。

三年間はいろんなことがあって、辛い思いも、楽しい思いも沢山ありました。今まで支えてくれた人々に感謝の気持ちを持って、これからも頑張ります。

②今後の進路について

大学でしっかり決められた単位を取って、授業をやすまず、ちゃんとノートを取って、テストにそなえること。二年生から三年生のとき留学できるように努力する。

③奨学金の使い道について

大学の受験料と交通費
英検、漢検の資格取得等

④後輩へのメッセージ

高校三年間はあつというんです。やりたいことをおもしろくやって、とれる資格をいっぱい取る。ボランティアをやって、沢山の友達を作って、いろんなことをチャレンジして下さい。

T さん (3 期生)

①高校を卒業して

高校では自分らしく過ごせて楽しかったです。

一番印象に残ったのは私の母校でしかない「教養」の授業です。

一般常識だけでなく立ち振るまいや心の教育まで教えてくれるのです。そして、印象に残った先生は私の担任です。最後の最後まで私の進路につきあってくれて、ちょっとおどけてちょっとまじめなところが今でもこれからも好きです。

②今後の進路について

今後は、何よりも登録販売者の資格を取ることです。

そして、卒業までに医療事務の仕事もしたいと思っているのでその勉強や知識を深めていくことにがんばろうとしています。

③奨学金の使い道について

この 3 年間、奨学金のおかげで学費の負担もなんとか最小限におさえることができ、奨学金のみなさんに感謝をしています。

④後輩へのメッセージ

遊ぶときは思いっきりはしゃいで勉強するときは切り替えを忘れずがんばってほしいです。

夢は大切ですが今も大切なのでしたいことはすればいいと私は考えます。

後悔ややり残しが無い学校生活を送って楽しんで下さい。

～～第5回 KOBE カンタービレ・コンサート 開催決定～～

日 時 :2013 年 11 月 4 日(月・祝) 13:30 開場 14:00 開演
 場 所 :神戸市立 新長田勤労市民センター別館 ピフレホール
 チケット代 :前売り 2000 円、当日 2500 円(中学生以下無料)
 出 演 者 :青山 秀直(1stクラリネット)、蔭山 晶子(2ndクラリネット)、
 西川 香代(3rdクラリネット)、青山 映道(バスクラリネット)



今回の奏者は、第4回で、すばらしい演奏を聞かせて下さった青山秀直さんを 1st クラリネットとしてお迎えしたクラリネット四重奏です。ふるってご参加いただけましたら幸いです。

今年度も引き続き、募金箱設置にご協力いただきありがとうございます！

(順不同、2013 年 5 月 1 日現在)

FMわいわい、(財)神戸国際協力交流センター、神戸映画資料館、ほっとすてーしょん、神戸合同法律事務所、神戸市教職員組合、神戸市教育会館、兵庫県学校厚生会神戸支部、広東料理悠苑、甲南女子大学多文化コミュニケーション学科、(株)浜屋、南あわじ市国際交流協会、高砂市国際交流協会、タンカフェ、ひめじ発世界、神戸 YWCA、ベトナム料理メコン、インド料理チャルテ・チャルテ、南インドカフェダイニング チャルテチャルテ、マルコネ 4 番館、チャオサイゴン、龍谷大学ボランティアセンター、ブラジリアーノ、民団西宮支部、焼き肉みなみ、韓国商工会議所、NPO 法人フォロ、佐用町商工会議所青年部、元祖とんかつカレーカツヤ

今後引き続き、募金箱設置をお願いいただける団体・店舗を募集しております！

皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

～今後の予定～

2013 年 6 月 2 日(日) 灘チャレンジ出展
 2013 年 7 月 19 日(日) 丸五ナイト屋台出店(予定)
 2013 年 8 月下旬 夏の奨学生交流会
 2013 年 11 月 4 日(月・祝) 第 5 回 KOBE カンタービレ・コンサート

奨学資金の寄付を受付中です

ご寄付いただける方は、以下のゆうちょ銀行の口座までお願いいたします。

口座名義：定住外国人子ども奨学金実行委員会

口座番号：

(ゆうちょからの振込の場合) 1 4 3 7 0 8 7 4 5 4 7 7 1

(他行からの振込の場合) 店番 四三八 普通預金 8 7 4 5 4 7 7

問い合わせ先 定住外国人子ども奨学金実行委員会

〒653-0038 神戸市長田区若松町 4-4-10 アスタクエスタ北棟 502

NPO 法人 神戸定住外国人支援センター(KFC) 気付

TEL078-612-2402 FAX078-612-3052

E-mail kfc@social-b.net Web <http://www.social-b.net/kfc/scholarship/>

